TOPIC 1

かわさきの

探究的な学び

「ハテナがつながる学び」、はじまる！

「かわさき探究2.0」に迫る！ Vol.2

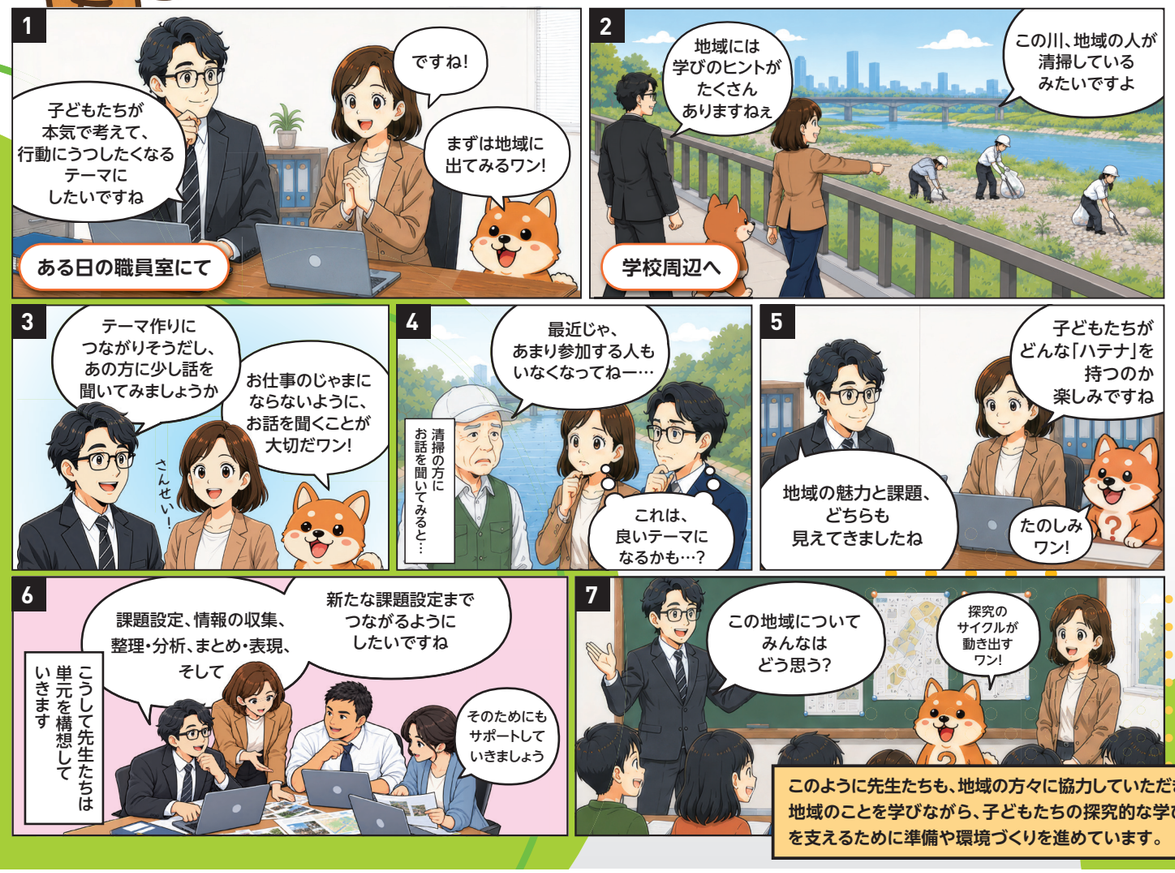


探究犬
「たんまる」

先生たちも地域を探究!?

7月号で紹介した、子どもたちのハテナを探す探究は
先生たちも行っています！どういうことでしょう？

かわさき探究2.0劇場 “サポート側は一足先に…?”



先生たちもわくわくドキドキ！

子どもたちの探究を支えています！

「かわさき探究2.0」を推進するため、各学校の探究担当者が集まる「探究担当者会」を開催しています。
学校種や学校の垣根を越えて取組を共有したり、新しい単元づくりを学んだりすることで、より充実した探究的な学びにつなげています。



すでに取組を始めているモデル校

どんな探究をしているの？

小学生

野菜嫌いをへらそう ～地域の野菜づくりを通して～



給食の野菜の残量を調べたり、苦手な野菜アンケートをとったりして情報収集の活動を行いました。これから、残食を減らすために、野菜のよさや、どうすればおいしく食べてもらえるのかを、みんなで考えていきます。



燦燦（さんさん）と輝く ぼく・わたしの草木染め



地域のゲストティーチャーの協力のもと、草木染めの活動を体験しました。植物の種類や染色の方法によって、色が変わることがわかったので、いろいろな色に染めたり、自分好みの色を出したりといった活動に取り組んでいます。



アップサイクルを通して みんなを笑顔にしよう



使われなくなった素材を生まれ変わらせる「アップサイクル」という取組を学び、川崎市制100周年の際に使用された古い横断幕を加工し、新たな価値を加えた風車づくりに取り組みました。これから、さらに自分たちで様々なアップサイクルに取り組んでいきます。



中学生

私たちが地域のためにできること ～地域のコミュニティづくりに関わろう～



自分たちの地域には、どんな地域課題があるかを調べ、そこから自分たちにできることを考えて実践しています。わくわくプラザに通う小学生と一緒に行う花植え活動や、海洋プラスチックゴミを再利用してつくるキーホルダーづくり、地域のドーナツ屋さんと協働した地域の目玉商品づくりなど、グループごとに様々な活動に取り組んでいます。



14歳のワークチャレンジ！



働く大人の思いや願いを知るために、実際に地域にあるたくさんの事業所に行って、働く人々にインタビューをしました。集めた情報を整理・分類して、どんな共通点があるか分析すると、職種や立場が違っても同じキーワードが出てきたり、事前に予想した答えと違ったりして、働く意義について深く考える機会となりました。





次回は！
こうした取組の様子を紹介するワン！

モデル校一覧
●高津小学校 ●久末小学校 ●金程小学校
●塚越中学校 ●住吉中学校

かわさき雑学★これ知ってる？【川崎にも路面電車が走っていた?】昭和19(1944)年、川崎駅前～渡田三丁目間で開業した「川崎市電」。その後、臨海部まで路線を延ばし、工場で働く人々の足として活躍しました。自動車交通の増加などにより昭和44(1969)年に廃止。現在は川崎区の桜川公園に車両が保存されています。

お問合せは 教育委員会事務局 教育政策室 | TEL：044-200-3068